

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農林業・食品産業関係についての地域ニーズと信州大学シーズの把握・整理とマッチングによる共同研究の推進
事業主体 (連絡先)	伊那谷アグリイノベーション推進機構 事務局 (長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部内 電話 0265-77-1523)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 (イ農業の振興と農山村づくり、ウ森林づくりと林業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	543,900 円 (うち支援金 : 339,000 円)

事業内容

信州大学シーズと地域ニーズのマッチングを図る目的でシンポジウム4回、体験講座3回を実施しました。

シンポジウムのテーマは、①伊那谷の将来に向けた伊那谷3大学(信州大学、長野県看護大学、飯田女子短期大学)のシーズを活用した機能性食品開発、②伊那谷における産学官連携事業の現状と展望、③シカ肉でハム・ソーセージ作りと、手作りジャムに挑戦、④南信州の地域食品資源の産業化に向けた取り組みを実施しました。

(活動写真)



事業効果

シンポジウム参加者数は4回の合計848名であり、当初目標としていた500名を大きく上回る効果がありました。

このシンポジウムを契機に発足したマッチング(共同研究等)は、機能性食品開発に係わる企業との共同研究3件、獣害防除に係わる酪農経営者との研究会発足1件、獣害防除に係わる企業からの技術相談2件、ニホンジカ肉に係わる調査活動グループの発足1件でした。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

●信大(農)のシーズを紹介し、伊那谷地域の企業、自治体、各種団体等とのマッチング(共同研究等)を図る。

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

伊那谷アグリイノベーション推進機構設立準備会の活動を経て、伊那谷アグリイノベーション推進機構(以下本機構)が平成25年10月に設立されました。本機構の主活動として引き続きシンポジウム事業を行い、信大(農)のシーズと伊那谷地域のニーズとのマッチングを図り、本機構の目的である地域の課題解決、産業振興につなげていきたい。また、今後の取り組みとして、①ニホンジカ肉プロジェクト、②農林産物特性調査プロジェクト、③食品農産物未利用資源有効利用プロジェクト、の3つを本機構のプロジェクト事業として発足させ、活動を展開していきたい。

※1 自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある